

1. 件名：令和元年度第5回核物質防護事業者連絡会

2. 日時：令和元年12月12日(木) 14時00分～15時00分

3. 場所：原子力規制庁 13階会議室D、E

4. 出席者：

原子力規制庁長官官房放射線防護グループ

核セキュリティ部門

担当者 11名

関西電力株式会社

担当者 1名

原子燃料工業株式会社

担当者 3名

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

担当者 2名

日本原燃株式会社

担当者 2名

電源開発株式会社

担当者 1名

三菱原子燃料株式会社

担当者 2名

三菱電機株式会社

担当者 1名

日本核燃料開発株式会社

担当者 2名

東芝エネルギーシステムズ株式会社

担当者 1名

ニュークリアデベロップメント株式会社

担当者 2名

公益財団法人核物質管理センター

担当者 4名

国立大学法人京都大学

担当者 1名

国立大学法人東京大学

担当者 1名

学校法人近畿大学

担当者 2名

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

担当者 12名

原子力エネルギー協議会

担当者 1名

5. 要旨

(1) 当庁から、是正措置プログラム (CAP)、核燃料施設等における重要度評価及び個人の信頼性確認における統一事項等について説明を行い、その後質疑応答を行った。

(2) 原子力エネルギー協会 (ATENA) から、安全確保実績指標 (PI) について説明を行い、その後質疑応答を行った。

以上